

教科	国語	科目	論理国語	学年	2年	類型	商業科
単位数	2	教科書	新編 論理国語	出版社	東京書籍		
副教材	新編 論理国語学習課題ノート						

学習の到達目標

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。
- (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

授業の概要

- ・多彩な論理的文章や実用的文章に触れることで、論理的な思考力や多角的な視点を身に付けることを目指します。
- ・言葉による見方・考え方を働かせ、本文の内容（作者・筆者の意図）を的確に理解する力を育成します。
- ・基本的な言語事項の習得を重視し、語彙力（漢字・慣用表現など）を豊かにすることを目指します。
- ・科目の目標を踏まえつつ、折に触れて様々な言語活動を行います。それらの活動を通して、皆さんに高校生としてふさわしい「話す力・聞く力」や「書く力」といった表現力を育成します。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察	定期考査・単元テスト・課題作文・授業時の観察など	学習への参加状況・課題などの提出状況・振り返りシートなど
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。 ・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。 <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの 4 … 十分満足できると判断できるもの 3 … おおむね満足できると判断できるもの 2 … 努力を要すると判断されるもの 1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査
1学期	広がる風景/対話とは何か・世界をつくり替えるために	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 文章の論理展開や表現を積極的に読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に話し合おうとしている。 	1学期 中間考査
	論理の力/論理とは何か	<ul style="list-style-type: none"> 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解している。 進んで演繹的な推論について理解し、学習課題に沿って広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。 筆者の意見を踏まえた事例について粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 	
	考える手がかり/少女たちの「ひろしま」・「ふしぎ」ということ	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 粘り強く筆者独自の「視点」を理解し、今までの学習を生かして戦時下の人々の日常と自分との接点について、考えを深めようとしている。 	1学期 期末考査
2学期	人間と知性/学ぶことと人間の知恵・ラップトップ抱えた「石器人」	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り、今までの学習を生かして人間の思考や脳の働きについて、複数の文章を読み比べながら、考えを深めようとしている。 	2学期 中間考査
	論理の力/論証する力	<ul style="list-style-type: none"> 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解している。 「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 粘り強く論証の適切さを判断する「根拠の適切さ」と「導出の適切さ」という二つの観点を理解し、今までの学習を生かして説得力のある論証や反論方法について捉えようとしている。 	
	現実の中で/思考の肺活量・安心について	<ul style="list-style-type: none"> 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的に把握している。 粘り強く比喻によって表現された筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。 	
	論理の力/質問する力・仮説を立てて検証しよう	<ul style="list-style-type: none"> 推論の仕方について理解を深め使っている。 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的に把握している。 	2学期 期末考査
3学期	ものの見方/弱肉強食は自然の摂理か・複数の「わたし」	<ul style="list-style-type: none"> 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 	
	働くよるこび/はじめに「言葉」がある・楽に働くこと、楽しく働くこと	<ul style="list-style-type: none"> 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え、今までの学習を生かして「働くこと」と「言葉」との関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。 	
	ブックガイド/言葉の扉	<ul style="list-style-type: none"> 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、学習課題に沿って筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し、「わたし」に対する見方を広げようとしている。 	学年末考査

第2学年商業科

シラバス（国語）科

愛媛県立大洲高等学校

教科	国語	科目	文学国語	学年	2年	類型	商業科
単位数	2	教科書	新編 文学国語	出版社	大修館書店		
副教材	新編 文学国語学習ノート						

学習の到達目標

<p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。</p> <p>(2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
--

授業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・多彩な文学的文章に触れることで、適切かつ効果的に表現する能力を身に付けることを目指します。 ・本文の内容（作者・筆者の意図）を正確に読み取る力を育成します。 ・言語事項の習得を重視し、語彙力（漢字・慣用表現など）を豊かにすることを目指します。 ・科目の目標を踏まえつつ、折に触れて様々な言語活動を行います。それらの活動を通して、皆さんに高校生としてふさわしい「話す力・聞く力」や「書く力」といった表現力を育成します。
--

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	生涯にわたる社会社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト（小テスト）・授業時の観察	定期考査・単元テスト・課題作文・授業時の観察など	学習への参加状況・課題などの提出状況・振り返りシートなど
備考	<p>・観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、 「おおむね満足できる」：B、 「努力を要する」：Cとして評価します。</p> <p>・「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</p> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの</p> <p>4 … 十分満足できると判断できるもの</p> <p>3 … おおむね満足できると判断できるもの</p> <p>2 … 努力を要すると判断されるもの</p> <p>1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単 元	学習内容とねらい (内容のまとめりごとの評価規準)	定期考査
1 学期	明日をひらく/少なくとも最後まで歩かなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・知識には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に把握している。 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。 	1 学期 中間考査
	小説を楽しむ (一) / ナイン・晴れた空の下で	<ul style="list-style-type: none"> ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の仕方を把握している。 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとしている。 	
	詩を味わう/小景異情・永訣の朝・コスモス	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたをふまえ、解釈の多様性について考察している。 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。 	
2 学期	名作を読む/山月記	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。 	2 学期 中間考査
	社会に生きる/神去なあなあ日常・鞆・その日東京駅五時二十五分発	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解している。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定のしかた、表現の特色について理解を深めている。 ・作品に興味をもち、仕事や自然に対する描写を読み取ろうとしている。 	
	表現を味わう/身内なほど厄介なものはない・下記・ぼくのお母さん・思いを言葉に	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品に興味をもち、身の回りのことに当てはめながら筆者の主張を理解しようとしている。 	
	古典の世界/かぐや姫の昇天	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章をとおして、我が国の言語文化の特質について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、描写のしかたなどを的確に把握している。 	
3 学期	読書の広場/さくら日和	<ul style="list-style-type: none"> ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解している。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえている。 	学年末考査
	恋のうた/現代の恋・近代の恋・古典の恋	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解している。 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景や他の作品などの関係をふまえ、作品の解釈を深めている。 ・詩歌を読むことに興味をもち、それらの形式や表現の特徴をふまえながらそれぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取ろうとしている。 	
	古典の世界/はしたなきもの	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開描写のしかたなどを的確にとらえている。 ・作品に興味をもち、自分と比較しながら作者の感性をとらえようとしている。 	